

## トレセン / 地域リーグ支援制度

地域	判定結果	対象	開催期間	改善点など
北海道	×	U-16	未定	・全域での開催を設定すること。 (ブロック毎の開催であり全域での開催でない) ・日程が未定、日程を決定すること。
東北		U-16	4月～2月・5節	
関東		U-16	4月～2月・7節	U-16リーグへU-15選手の参加が増えることが望ましい。
北信越		U-16	6/9～6/10 3/22～3/23	マッチデーを増やし集中開催から分散開催へすることが望ましい。 国体後の開催はU-16選手の参加ができることが望ましい。
東海		U-16	6月～8月・4節 11月～2月・3節	
関西		U-16	4月～7月・5節	国体後も定期的なリーグ戦の継続が望ましい。
中国		U-16	5月～8月・4節	国体後も定期的なリーグ戦の継続が望ましい。
四国	×	U-14		U-16からのリーグ戦を実施すること。

## トレセン / U-16地区リーグ支援制度

地域	都道府県	判定	開催期間	改善点など
北海道	北海道		期間未定(4～11月)・5節	札幌地区での開催をモデルケースとして、全域で開催できることが望ましい。
東北	青森		6月～11月・7節 1～2月・6節	問題なし
	山形		6月～10月・5節	高1のみの5地区総当たり戦となっているため、U-15年代を入れること。
関東	栃木		5月～1月・7節	問題なし
	茨城		5月～2月・7節	高体連5地区トレセンにクラブ所属の選手をいれた実施が望ましい。 (強豪チームは単独での参加も可)
	群馬			U-15のみの開催のため、U-16をミックスすること。
	東京		5月～12月・6節	U-16とU-15をミックスすること。 中体連とクラブのトレセンを別々にしないこと。
	山梨		5月～12月・6節	問題なし
北信越	福井		6～8月・12月・3月・6節 1日2試合	中体連とクラブU-15トレセンを別々にしないこと。
東海	愛知		5～3月・6節 5～8月・5節	U-15とU-16を、ミックスすること。 (例:U-15の後半リーグにU-16地区トレセンが参加)
	岐阜			具体的な対戦の組合せを提示すること。
関西	京都		9～2月・7節	地区トレセンが2地区のみではなく、府全域の地区トレセン参加が望ましい。
	大阪		9～11月5節	U-16の選手をミックスして実施すること。
	和歌山		6～11月・6節	問題なし
中国	広島		10月～2月・6節	後期集中よりも年間を通したリーグ戦が望ましい。
四国	香川			U-15とU-16を、ミックスすること。
	徳島		11～1月・5節	集中開催に近いので、M-T-Mを確保した長期に渡ったリーグ戦の開催が望ましい。

今回は支援しないが、改善の状況を鑑み、追加支援を検討する。